

事務事業	312511	市内循環バス運行事業		
事業区分	必要性	実施計画事業	施策体系	312520 バス輸送の利便性の向上
区分	必要性	高い	効率性	低い
	方向性（第一次）	改善・効率化	改善、効率化の内容	改善戦略
対象	バス利用者			

事務事業目的	公共施設利用者の利便性の向上と交通不便地域や高齢者等に配慮した交通手段の確保を図ります。
事務事業内容	駅をはじめ、各種施設への移動手段として、市内循環バスを運行し、利便性の向上や交通不便地域の解消を図ります。
実施形態	その他（バス会社との協定）
成果指標	利用者数（4月から3月までの合計値） 令和元年度実績：69,493人
活動指標	（活動指標1）運行日数（年） （活動指標2）他市との連携に向けた検討回数（年） 令和元年度実績：活動指標1 309日 活動指標2 1回

**事業コスト計算**

事務事業費予算額	42,082,000 円	R1 事務分担表による「事務に係る人数」	0.56 人
事務事業費決算額	46,108,908 円	R2 事務分担表による「事務に係る人数」	0.44 人
<b>予定値</b>		<b>確定値</b>	
直接事業費	42,082,000 円	直接事業費	46,108,908 円
人件費	4,615,746 円	人件費	3,558,018 円
総額	46,697,746 円	総額	49,666,926 円

見直し実績	「狭山市地域コミュニティ交通調査検討業務委託」を実施し、市内循環バスの利用実態の把握と評価及び地域の交通事情の調査・分析を行い、今後の地域交通の新たな手法について検討した。		
事業評価	内部要因 外部要因	（ニーズ）高齢者の免許返納の機運の高まりにより公共交通の役割が増大している （弱み）交通空白地の解消や民間が撤退した不採算路線の補完という役割から、運営が困難である	
	必要性	免許返納後の高齢者が、生活のために移動する手段としての地域交通に対する関心や心配、ニーズが高まっていることから、必要性は高い ただし、「バス」による移動手段の補完には限界があり、新たな地域交通の手法が求められている	
	効率性	西武バス株式会社との協定により市内循環バスを運行し、民間のノウハウを活かした運営・サービス提供をしているが、事業の性質上、交通空白地の解消のためには、不採算であっても運営することが必要となる	
	方向性	交通空白地の解消のため、適切な運行状況の把握に努め、ルート変更の必要性や実効性、利用促進策について検討するとともに民間事業者及び近隣市との連携を強化していく あわせて、市内循環バスの運行と並行して新たな地域交通の手法を取り入れることも検討していく	